



第707号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5 階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合  
書記局

**6月16日(木) 13:00~13:30 第2回 検数労連22夏季一時金交渉**  
**22夏季一時金スト権すべての項目で90%以上の賛成票を獲得。**  
**22春闘賃上げ未達分の補填と地域間格差解消を前面に、組合要求に沿った**  
**回答の構築を強く求める。**

《22夏季一時金スト権集約結果》

地区名	項目	賛成	反対	白紙	棄権	合計
全国	夏季一時金	939	7	13	8	967
	諸要求	941	5	12	9	967
	国民的課題	877	58	23	9	967

5月27日(金)~6月6日(月)までを集約期間とした検数労連22夏季一時金スト権について、左記のとおりの結果となったことを報告します。

このようなスト権の結果を受け、生活賃金の後払的要素が強い一時金については、要求に

このようなスト権の結果を受け、生活賃金の後払的要素が強い一時金については、要求に

長期化した22春闘から間髪入れずに夏季一時金闘争に移行したが、22春闘では要求に沿った回答が取り切れない中で妥結に至った経過があり、22春闘賃上げ分だけでは組合員の生活改善にまでは至っていないのが現状である。

【組合主張】

その後、両協会から22夏季一時金対象者の平均年齢や平均勤務等を明記した『基礎数字』を受け取るなかで、両協会に対し22夏季一時金の回答構築に向けた組合要求の趣旨を次の通り主張しました。

6月16日(木)第2回検数労連22夏季一時金交渉で組合は22夏季一時金に対するスト権の確立について、すべての項目において90%以上の賛成票を獲得し、スト権が確立されたことを両協会に通知しました。

【第2回交渉】

**※次回交渉**  
**6月20日(月)14:00~**  
**第3回 22夏季一時金交渉**  
**有額回答に向けた考え方を求**  
**めていきます。**

本日の交渉での組合主張も受け止めたうえで、有額回答指定日に向けて様々な角度から鋭意検討を重ねていきたい。

【両協会】

次回交渉では、有額回答に向けた両協会の考え方を披歴してもらったが、有額回答提示に向け組合要求に沿った回答の構築を強く求める。

沿った回答の提示が強く求められる。また、急激な諸物価高騰などの影響も考慮すると地域間格差回答の廃止が絶対条件となる。とりわけ全日検北海道地区に対する極端な格差回答は容認できないことを主張する。